

個別事項「指針の遵守」

市町村名	東通村
------	-----

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項【令和2年2月25日付け青が生第543号通知】

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省健康局長通知）に基づき、がん検診を実施する必要がある、評価が×の項目は○となるよう改善が必要です。

検診		令和元年度	
種類	方式	検査方法	評価
		対象者	
		検診間隔	
胃がん検診 (X線)	集団	問診・胃部エックス線検査	○
		20歳以上の男女	×
		年1回	○
	個別	問診・胃部エックス線検査	○
		20歳以上の男女	×
		年1回	○
胃がん検診 (内視鏡)	集団	—	
		—	
		—	
	個別	—	
		—	
		—	
大腸がん検診	集団	問診・便潜血検査(2日法)	○
		20歳以上の男女	×
		年1回	○
	個別	問診・便潜血検査(2日法)	○
		20歳以上の男女	×
		年1回	○

検診		令和元年度	
種類	方式	検査方法	評価
		対象者	
		検診間隔	
肺がん検診	集団	質問・胸部エックス線検査・喀痰細胞診	○
		40歳以上の男女（喀痰：50歳以上で喫煙指数600以上の男女）	○
		年1回	○
	個別	質問・胸部エックス線検査・喀痰細胞診	○
		40歳以上の男女（喀痰：50歳以上で喫煙指数600以上の男女）	○
		年1回	○
乳がん検診	集団	問診・乳房エックス線検査	○
		40歳以上の女性	○
		2年に1回(未受診の場合は翌年度受診可)	○
	個別	—	
		—	
		—	
子宮頸がん検診	集団	問診・視診・内診・細胞診(液状検体法)	○
		20歳以上の女性	○
		年1回	×
	個別	問診・視診・内診・細胞診(液状検体法)	○
		20歳以上の女性	○
		年1回	×

改善が必要な事項 (評価が×の項目について)
[胃がん検診(X線)] ・対象者の遵守が求められる。(対象は50歳以上の男女(当面は40歳以上の男女でも可))
[胃がん検診(内視鏡)]
[大腸がん検診] ・対象者の遵守が求められる。(対象は40歳以上の男女)
[肺がん検診]
[乳がん検診]
[子宮頸がん検診] ・検診間隔の遵守が求められる。(2年に1回)

出典：令和元年度がん検診に関する調査（がん・生活習慣病対策課調べ） ※評価は「指針を遵守=○」、「事業全体としては指針を遵守=(○)」、「遵守していない=×」で表しています。

個別事項「市町村チェックリスト」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項 [令和2年2月25日付け青が生第543号通知]

市町村名 **東通村**

①チェックリスト実施率の状況

チェックリスト実施率は、検診で最低限整備するべき技術・体制の自己点検結果であり、100%を目指します。(グラフの◆は貴市町村、●は他市町村を表します。)

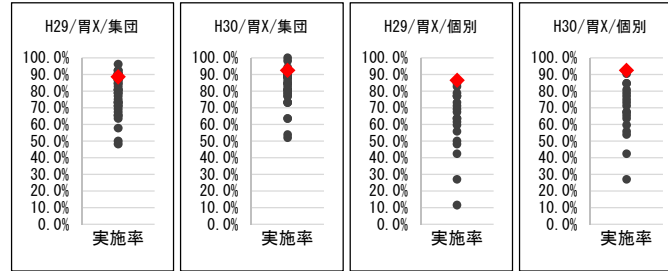
検査方法	検診方式	H29実施率	H30実施率
胃がん検診 (X線)	集団	88.5%	92.3%
	個別	86.5%	92.3%
胃がん検診 (内視鏡)	集団	—	—
	個別	—	—
大腸がん検診	集団	88.5%	92.3%
	個別	86.5%	92.3%
肺がん検診	集団	88.2%	92.2%
	個別	86.3%	92.2%
乳がん検診	集団	89.1%	92.7%
	個別	—	—
子宮頸がん検診	集団	89.1%	92.7%
	個別	85.5%	90.9%

優先的に取り組む必要がある事項

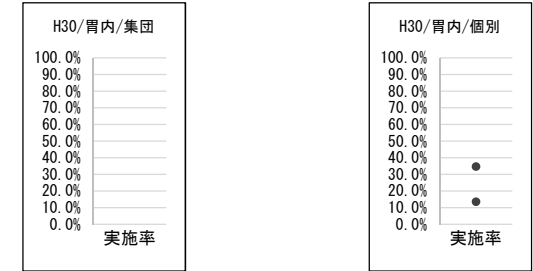
実施率向上にあたっては、次の項目に特に優先的に取り組んでください。

- ・問6-2 検診機関へのフィードバック実施

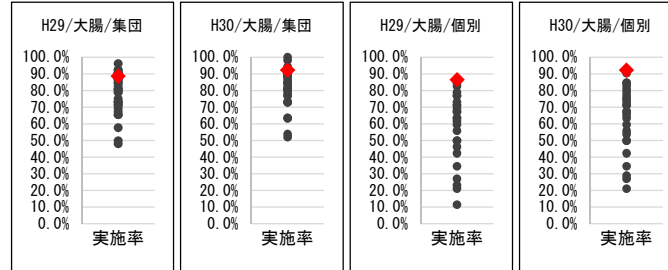
①胃がん検診 (X線) C L 実施率



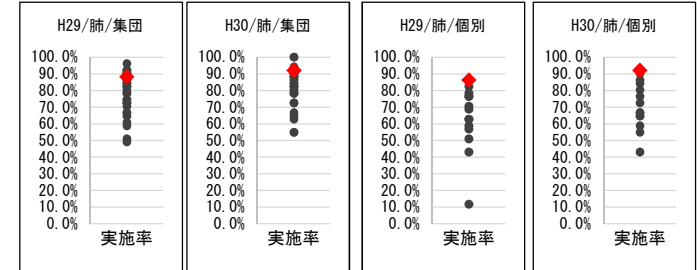
②胃がん検診 (内視鏡) C L 実施率



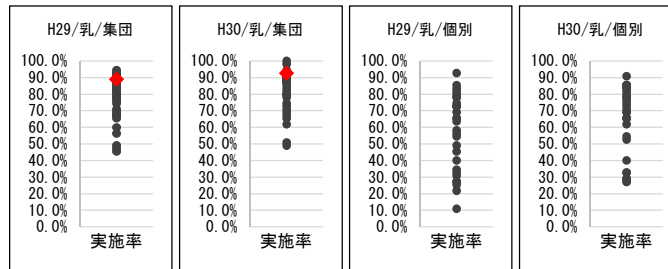
③大腸がん検診 C L 実施率



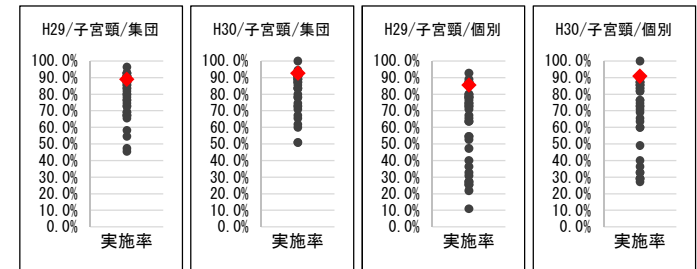
④肺がん検診 C L 実施率



⑤乳がん検診 C L 実施率



⑥子宮頸がん検診 C L 実施率



出典：各年度の事業評価のためのチェックリスト調査（国立がん研究センター、青森県がん・生活習慣病対策課）

※実施率は「○（実施）」の項目を集計したものです。また、前々年度のがん検診が未実施の場合は、問7以降が「-（非該当）」となるため実施率は低くなります。

※前々年度にがん検診を実施している場合、当該年度のがん検診が未実施でも問7以降の回答が必要なため実施率の算出が可能ですが、本資料では実施率の掲載はしていません。（「-」と表示）

②チェックリストで特に実施率向上が必要な項目の状況

次の項目は特に実施率向上が必要な項目です。全て「○（実施）」になるよう取り組む必要があります。

チェックリスト		H30年度の実施状況							項目の意義・一般的な対策
問番号	質問内容	検診方式	胃(X線)	胃(内)	大腸	肺	乳	子宮頸	
問1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【項目の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な対象者名簿とは、検診対象の全住民を住民基本台帳から抽出し、漏れなく記載した名簿を指します。 不利益を減らす観点から、隔年検診が推奨される検診の前年度受診者をあらかじめ除くことも重要です。 適切な受診台帳は個人毎の検診記録が過去5年間連結できるものを指します。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問2-1	個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【一般的な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診台帳を電子システム化し、住民基本台帳との連携や受診歴の経年管理、各種抽出機能を備えることが必要です。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【項目の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的に効果が証明されている検診を、質の高い精度管理の下で行い、その上で受診率を上げることが重要です。 対象者全員に対して個別の受診勧奨（コール）を行うことが原則であり、やむを得ず対象を特定の者に限定する場合には注意が必要です。 個別の受診勧奨（コール）をしても受診しない場合に、再度個別の受診勧奨（リコール）を行うことが原則であり、やむを得ず対象を特定の者に限定する場合には注意が必要です。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行いましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【一般的な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診台帳を電子システム化し、対象者名簿を作成することが必要です。 受診勧奨資材は、国立がん研究センター等が開発したものを参考にし、予算面では国庫補助金を活用します。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【項目の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨時に最低限説明すべき内容を記載した資料を配布する必要があります。（①必ず精検受診が必要、②精密検査の方法、③精検結果の報告と共有、④検診の利益、不利益、⑤継続受診の必要性と症状がある時の対応、⑥死亡率が上位であること、これらに加え肺がん検診は⑦喫煙等肺がんの知識） <p>【一般的な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資材は国立がん研究センター等が開発したものを参考にします。必要な項目を満たすのであれば、検診機関等が作成したものを利用することも可能です。
		個別	○	-	○	○	-	○	

◆実施状況は「○=実施、△=実施予定、×=未実施、—=非該当」で表しています。

チェックリスト		H30年度の実施状況							項目の意義・一般的な対策
問番号	質問内容	検診方式	胃(X線)	胃(内)	大腸	肺	乳	子宮頸	
問3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【項目の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要精検者は、精検を受けてはじめてがん発見・治療に至るため、確実に精検を受診する必要があります。 ・精検医療機関の一覧は、精検のアクセス向上だけでなく、適切な精検受診や精検結果の回収の面でも重要です。 ・精検結果は、精度管理評価や検診機関の質の担保のための重要な情報であり、結果をもれなく把握し、共有することが必要です。 <p>【一般的な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡市医師会と連携し、精検医療機関一覧を作成します。 ・精検結果の報告様式は、国立がん研究センターが示した様式を活用します。また、検診機関や医師会等と、精検結果の回収や共有方法をルール化します。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか	集団	○	-	○	○	○	○	
		個別	○	-	○	○	-	○	
問4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか	集団	○	-	○	○	○	○	
		個別	○	-	○	○	-	○	
問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【項目の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要精検者は、精検を受けてはじめてがん発見・治療に至るため、確実に精検を受診する必要があります。 ・精検受診の有無を把握し、受診勧奨を行うことで未受診者を減らすことが重要です。 <p>【一般的な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精検受診の有無がわからない者（未把握者）を減らすことが先決です。 ・精検受診率が低い場合には、検査結果の通知方法、精検結果の回収方法、受診勧奨方法、精検機関へのアクセス等についても分析が必要です。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか	集団	○	-	○	○	○	○	<p>【項目の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査の質を保证するため、委託の際には水準が高い検診機関を選定することが重要であり、適切な仕様書に基づく必要があります。 ・検診終了後には、仕様書の遵守状況や、検診結果（精検結果）に基づくフィードバック等により評価を行うことが必要です。
		個別	○	-	○	○	-	○	
問6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	集団	△	-	△	△	△	△	<p>【一般的な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な仕様書の内容は、国立がん研究センターが示す「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」に準拠します。 ・精度管理評価のフィードバックは、県（生活習慣病検診管理指導協議会）と連携して取り組みます。
		個別	×	-	×	×	-	×	

◆実施状況は「○=実施、△=実施予定、×=未実施、—=非該当」で表しています。

チェックリスト			H30年度の実施状況							項目の意義・一般的な対策	
問番号	質問内容	検診方式	胃(X線)	胃(内)	大腸	肺	乳	子宮頸			
問7-1～ 問9-1～ 問10-1～ 問11-1～ 問12-1～ 問13-1～	プロセス指標（受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度、早期がん割合）の集計	性別・年齢 5歳階級別	集団	○	-	○	○	○	○	<u>【項目の意義】</u> ・プロセス指標は、がん検診の各プロセスが適切に行われているかを評価するための指標です。 ・プロセス指標の正確な把握は、精度管理評価のために非常に重要です。 <u>【一般的な対策】</u> ・がん検診台帳を電子システム化し、各種抽出機能を備えることが必要です。	
			個別	○	-	○	○	-	○		
		検診機関別	集団	○	-	○	○	○	○		○
			個別	○	-	○	○	-	○		○
		検診受診歴別	集団	○	-	○	○	○	○		○
			個別	○	-	○	○	-	○		○
問14-1	【胃がん、大腸がん】 粘膜内がんの集計	集団	○	-	○	/	/	/	/		
		個別	○	-	○	/	/	/	/		
	【乳がん】 非浸潤がんの集計	集団	/	/	/	/	/	○	/		
		個別	/	/	/	/	/	-	/		
問8-1～	【肺がん】 「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計	性別・年齢 5歳階級別	集団	/	/	/	○	/	/		
			個別	/	/	/	○	/	/		
		検診機関別	集団	/	/	/	○	/	/		
			個別	/	/	/	○	/	/		
		検診受診歴別	集団	/	/	/	○	/	/		
			個別	/	/	/	○	/	/		
問15-1～ 問15-2～	【子宮頸がん】 「上皮内病変（CINなど）数」、「微小浸潤がん」の集計	性別・年齢 5歳階級別	集団	/	/	/	/	/	○		
			個別	/	/	/	/	/	○		
		検診機関別	集団	/	/	/	/	/	/	○	
			個別	/	/	/	/	/	/	○	
		検診受診歴別	集団	/	/	/	/	/	/	○	
			個別	/	/	/	/	/	/	○	

◆実施状況は「○=実施、△=実施予定、×=未実施、—=非該当」で表しています。

◆「問7-1～問13-1～」と「問15-1～問15-2～」の項目は、全ての項目が○の場合は「○=実施」と表し、1つでも△や×の項目がある場合には「* =未実施等あり」と表しています。

個別事項「プロセス指標」

平成29年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名	東通村
------	-----

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

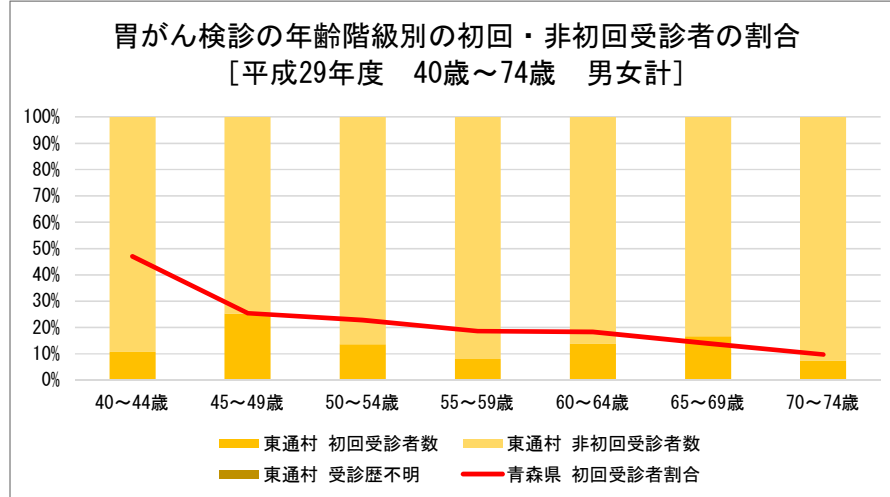
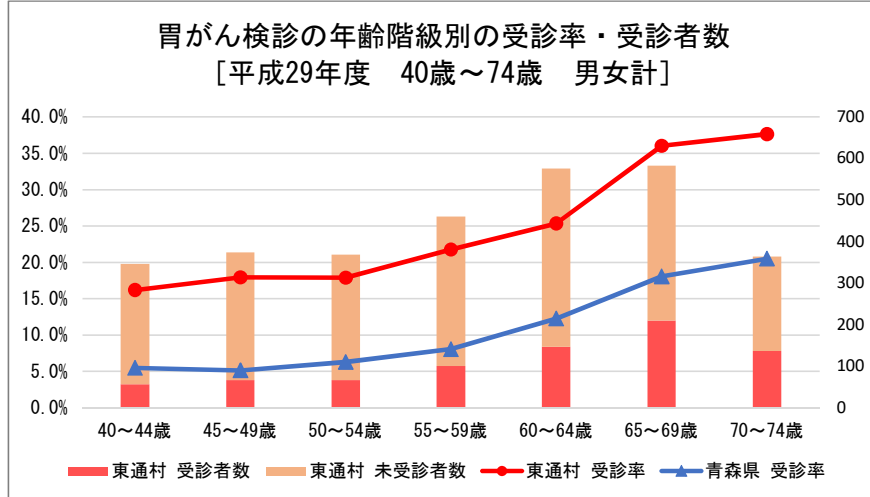
<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [平成29年度 40歳～74歳 男女計]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	4.1%	11.1%	7.5%	12.2%	10.3%	16.8%	13.0%	11.8%	7.1%	8.7%	9.8%	15.5%	11.7%	9.1%	9.5%	9.6%	22.8%	17.0%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	38位	33位	18位	30位	36位	35位	34位	4位	12位
受診者数	2,446,779	72,778	11,779	17,313	16,840	11,202	11,217	4,427	10,346	7,413	11,389	2,632	3,303	2,897	1,718	2,850	3,757	2,659
対象者数	60,110,942	652,747	157,509	141,610	162,837	66,701	86,504	37,586	145,394	84,953	115,703	16,973	28,153	31,776	18,166	29,544	16,477	15,597
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	8.9%	11.9%	15.1%	15.7%	17.2%	21.1%	18.6%	24.1%	16.8%	18.0%	16.3%	21.6%	15.3%	12.1%	21.2%	14.1%	16.5%	24.6%
順位	37位	29位	20位	17位	11位	7位	9位	3位	13位	10位	15位	5位	19位	26位	6位	23位	14位	2位
受診者数	528	169	221	515	911	932	120	1,785	852	702	1,150	1,396	903	879	1,728	743	375	2,164
対象者数	5,954	1,423	1,465	3,273	5,298	4,408	646	7,422	5,061	3,902	7,056	6,459	5,906	7,264	8,163	5,272	2,277	8,792
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	14.9%	12.1%	14.7%	25.5%	15.8%	19.5%	7.4%	11.1%	13.1%	13.0%	11.9%	11.4%						
順位	21位	27位	22位	1位	16位	8位	39位	32位	24位	25位	28位	31位						
受診者数	713	1,439	411	782	167	217	392	998	373	1,229	875	145						
対象者数	4,794	11,906	2,801	3,072	1,055	1,114	5,273	9,014	2,852	9,484	7,329	1,276						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H29年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成29年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
東通村	対象者数	346	374	369	460	576	583	364			3,072	2,708	3,072
東通村	受診者数	56	67	66	100	146	210	137	114	110	1,006	645	782
東通村	初回受診者数	6	17	9	8	20	35	10	5	4	114	95	105
東通村	非初回受診者数	50	50	57	92	126	175	127	109	106	892	550	677
東通村	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	受診率	16.2%	17.9%	17.9%	21.7%	25.3%	36.0%	37.6%				23.8%	25.5%
青森県	対象者数	86,310	88,633	84,791	91,906	98,694	115,753	86,660			652,747	566,087	652,747
青森県	受診者数	4,733	4,546	5,341	7,403	12,104	20,902	17,749	12,547	8,199	93,524	55,029	72,778
青森県	初回受診者数	2,226	1,158	1,217	1,378	2,214	2,921	1,724	1,149	758	14,745	11,114	12,838
青森県	非初回受診者数	2,232	3,141	3,852	5,710	9,287	17,095	15,357	10,949	7,093	74,716	41,317	56,674
青森県	受診歴不明	275	247	272	315	603	886	668	449	348	4,063	2,598	3,266
青森県	受診率	5.5%	5.1%	6.3%	8.1%	12.3%	18.1%	20.5%				9.7%	11.1%

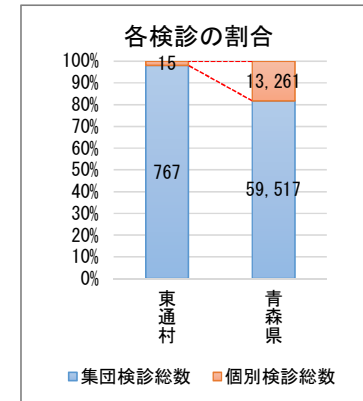
※受診者数はH29年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



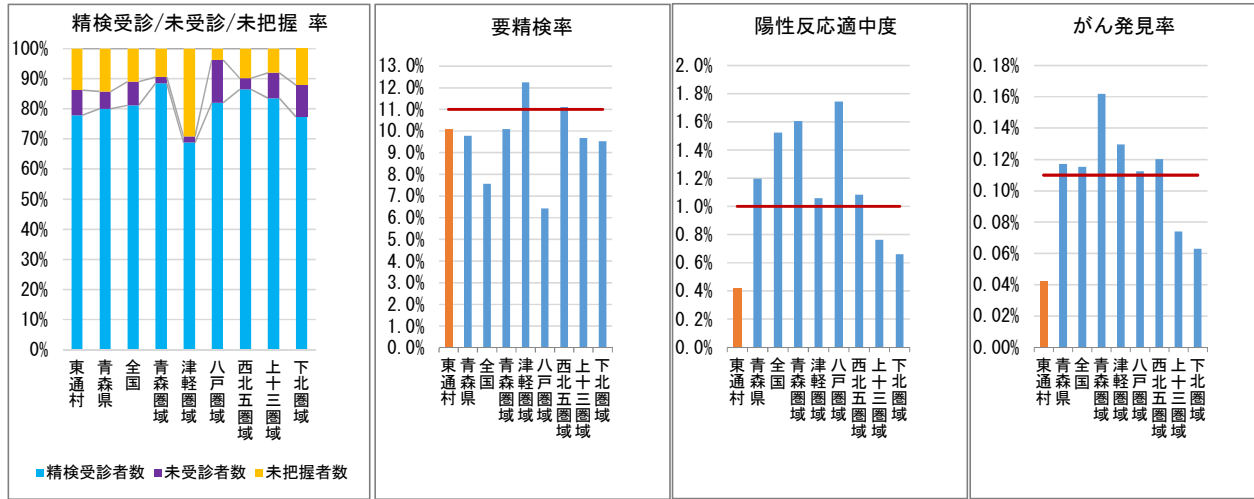
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項 [令和2年2月25日付け青が生第543号通知]

平成26～28年度 胃がん検診（胃部X線検査）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	東通村
------	-----

1. 胃がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計]>

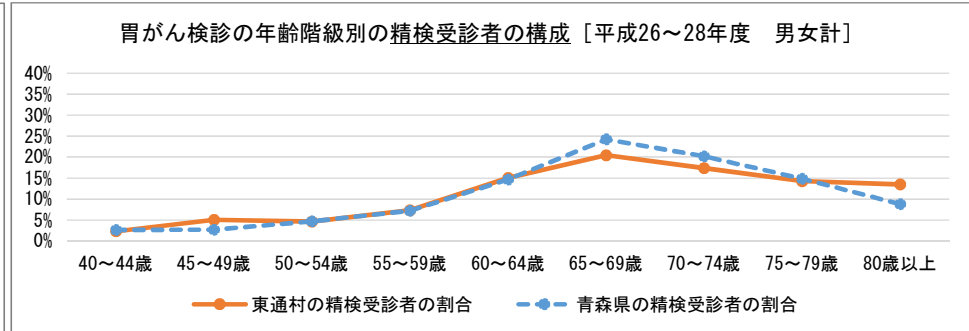
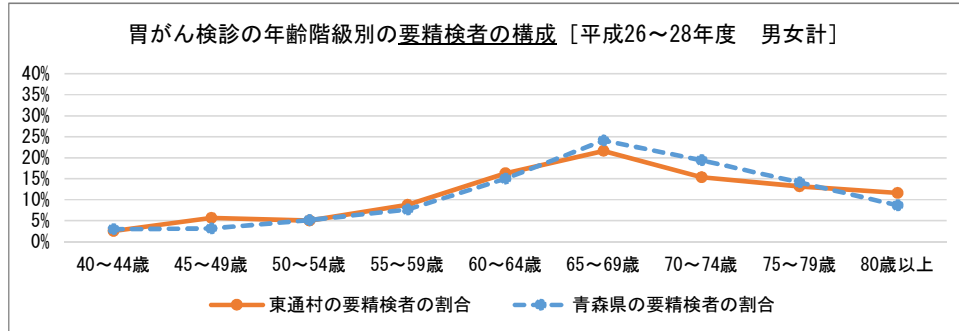
区分	東通村	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	2,380	234,065	8,696,429	38,887	54,072	56,096	35,779	36,526	12,705	—
要精検者数	240	22,873	658,791	3,924	6,619	3,608	3,975	3,536	1,211	—
未把握者数	33	3,258	72,455	370	1,931	135	391	284	147	—
未受診者数	20	1,307	51,833	84	136	514	147	298	128	—
精検受診者数	187	18,308	534,503	3,470	4,552	2,959	3,437	2,954	936	—
がんであった者	1	274	10,031	63	70	63	43	27	8	—
要精検率	10.1%	9.8%	7.6%	10.1%	12.2%	6.4%	11.1%	9.7%	9.5%	11.0% 以下
精検受診率	77.9%	80.0%	81.1%	88.4%	68.8%	82.0%	86.5%	83.5%	77.3%	—
未受診率	8.3%	5.7%	7.9%	2.1%	2.1%	14.2%	3.7%	8.4%	10.6%	—
未把握率	13.8%	14.2%	11.0%	9.4%	29.2%	3.7%	9.8%	8.0%	12.1%	—
陽性反応適中度	0.4%	1.2%	1.5%	1.6%	1.1%	1.7%	1.1%	0.8%	0.7%	1.0% 以上
がん発見率	0.04%	0.12%	0.12%	0.16%	0.13%	0.11%	0.12%	0.07%	0.06%	0.11% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H27～H29年度地域保健・健康増進事業報告)

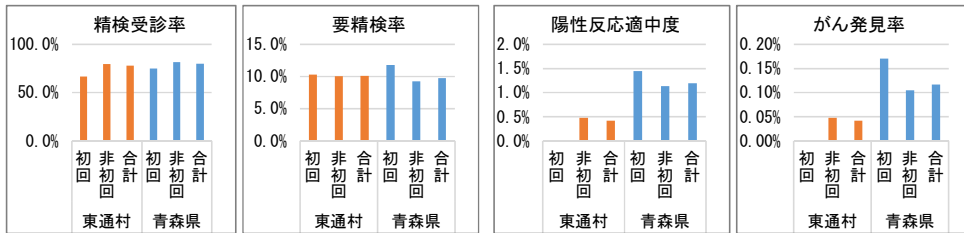
2. 胃がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成26～28年度 男女計] >

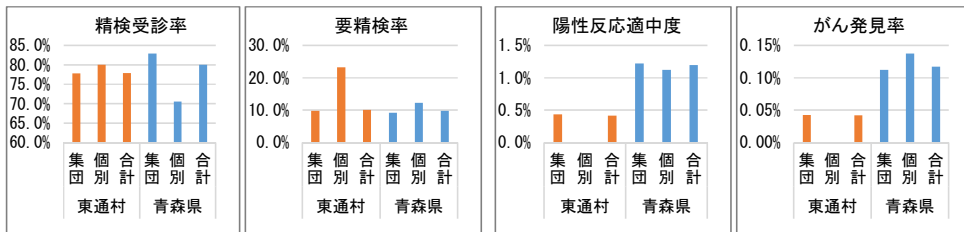
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
東通村	要精検者数	8	18	16	28	52	69	49	42	37	319	240
東通村	精検受診者数	6	13	12	19	39	53	45	37	35	259	187
東通村	精検受診率	75.0%	72.2%	75.0%	67.9%	75.0%	76.8%	91.8%	88.1%	94.6%	81.2%	77.9%
青森県	要精検者数	873	916	1,507	2,263	4,444	7,135	5,735	4,170	2,551	29,594	22,873
青森県	精検受診者数	633	651	1,118	1,724	3,527	5,814	4,841	3,563	2,113	23,984	18,308
青森県	精検受診率	72.5%	71.1%	74.2%	76.2%	79.4%	81.5%	84.4%	85.4%	82.8%	81.0%	80.0%

<胃がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村	初回	291	30	20	0	10.3%	66.7%	0.0%	0.00%
東通村	非初回	2,089	210	167	1	10.1%	79.5%	0.5%	0.05%
東通村	合計	2,380	240	187	1	10.1%	77.9%	0.4%	0.04%
青森県	初回	45,636	5,395	4,058	78	11.8%	75.2%	1.4%	0.17%
青森県	非初回	178,483	16,499	13,444	187	9.2%	81.5%	1.1%	0.10%
青森県	合計	234,065	22,873	18,308	274	9.8%	80.0%	1.2%	0.12%

<胃がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計] >

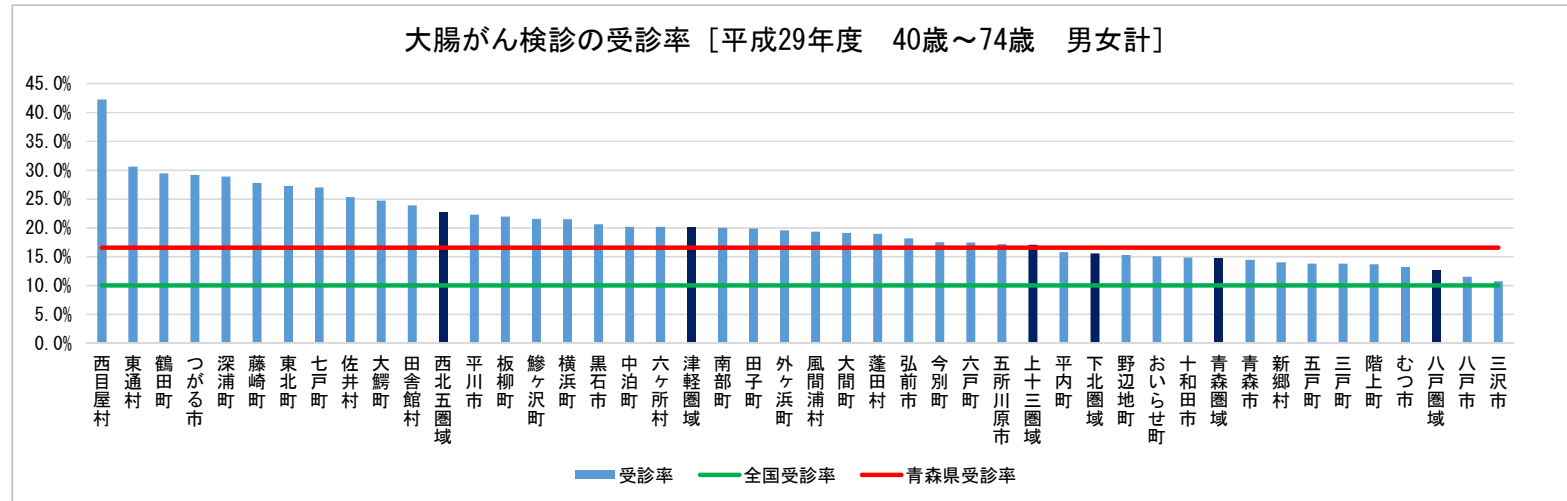


区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村	集団検診	2,337	230	179	1	9.8%	77.8%	0.4%	0.04%
東通村	個別検診	43	10	8	0	23.3%	80.0%	0.0%	0.00%
東通村	合計	2,380	240	187	1	10.1%	77.9%	0.4%	0.04%
青森県	集団検診	190,512	17,546	14,548	214	9.2%	82.9%	1.2%	0.11%
青森県	個別検診	43,553	5,327	3,760	60	12.2%	70.6%	1.1%	0.14%
青森県	合計	234,065	22,873	18,308	274	9.8%	80.0%	1.2%	0.12%

平成29年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	東通村
------	-----

1. 大腸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

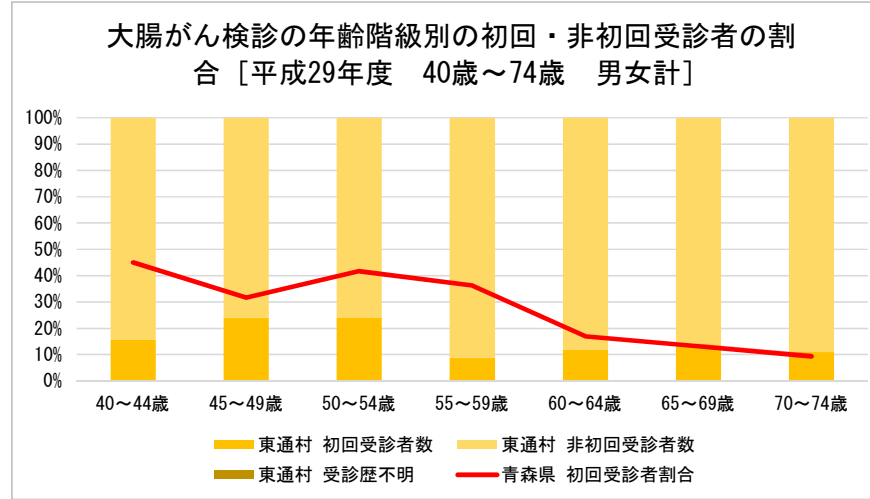
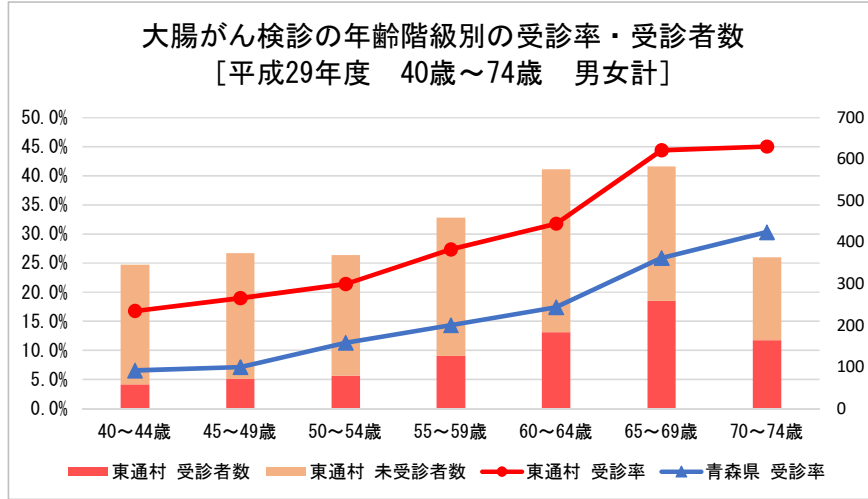
<大腸がん検診の受診率 [平成29年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	10.0%	16.6%	14.7%	20.1%	12.7%	22.7%	17.1%	15.5%	14.5%	18.2%	11.5%	20.6%	17.2%	14.8%	10.8%	13.1%	29.2%	22.3%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	33位	25位	39位	16位	28位	32位	40位	38位	4位	12位
受診者数	6,037,446	108,138	23,124	28,508	20,748	15,148	14,766	5,844	21,015	15,466	13,327	3,501	4,832	4,717	1,959	3,883	4,809	3,476
対象者数	60,163,544	652,747	157,509	141,610	162,837	66,701	86,504	37,586	145,394	84,953	115,703	16,973	28,153	31,776	18,166	29,544	16,477	15,597
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	15.8%	17.5%	19.0%	19.6%	21.5%	28.9%	42.3%	27.8%	24.7%	23.9%	21.9%	29.4%	20.2%	15.3%	27.0%	17.4%	21.5%	27.3%
順位	29位	26位	24位	21位	14位	5位	1位	6位	10位	11位	13位	3位	17位	30位	8位	27位	15位	7位
受診者数	942	249	278	640	1,141	1,272	273	2,061	1,251	932	1,548	1,902	1,192	1,109	2,205	919	490	2,400
対象者数	5,954	1,423	1,465	3,273	5,298	4,408	646	7,422	5,061	3,902	7,056	6,459	5,906	7,264	8,163	5,272	2,277	8,792
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	20.2%	15.1%	19.1%	30.6%	19.3%	25.3%	13.8%	13.8%	19.9%	20.1%	13.7%	14.0%						
順位	18位	31位	23位	2位	22位	9位	36位	35位	20位	19位	37位	34位						
受診者数	967	1,797	535	940	204	282	728	1,245	567	1,902	1,003	179						
対象者数	4,794	11,906	2,801	3,072	1,055	1,114	5,273	9,014	2,852	9,484	7,329	1,276						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H29年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

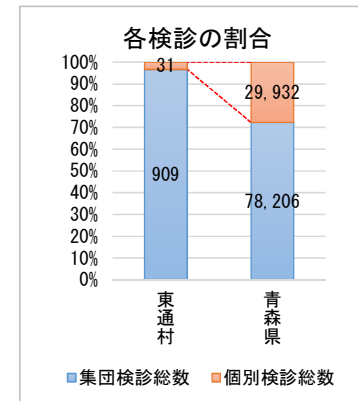
2. 大腸がん検診の受診者の状況



<大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成29年度 男女計] >

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
東通村	対象者数	346	374	369	460	576	583	364			3,072	2,708	3,072
東通村	受診者数	58	71	79	126	183	259	164	151	162	1,253	776	940
東通村	初回受診者数	9	17	19	11	22	34	18	10	18	158	112	130
東通村	非初回受診者数	49	54	60	115	161	225	146	141	144	1,095	664	810
東通村	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	受診率	16.8%	19.0%	21.4%	27.4%	31.8%	44.4%	45.1%				28.7%	30.6%
青森県	対象者数	86,310	88,633	84,791	91,906	98,694	115,753	86,660			652,747	566,087	652,747
青森県	受診者数	5,641	6,310	9,573	13,175	17,176	29,987	26,276	19,965	16,313	144,416	81,862	108,138
青森県	初回受診者数	2,538	1,998	3,990	4,774	2,913	3,922	2,455	1,721	1,765	26,076	20,135	22,590
青森県	非初回受診者数	2,795	4,047	5,277	8,044	13,548	25,040	23,029	17,687	14,054	113,521	58,751	81,780
青森県	受診歴不明	308	265	306	357	715	1,025	792	557	494	4,819	2,976	3,768
青森県	受診率	6.5%	7.1%	11.3%	14.3%	17.4%	25.9%	30.3%				14.5%	16.6%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はH29年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

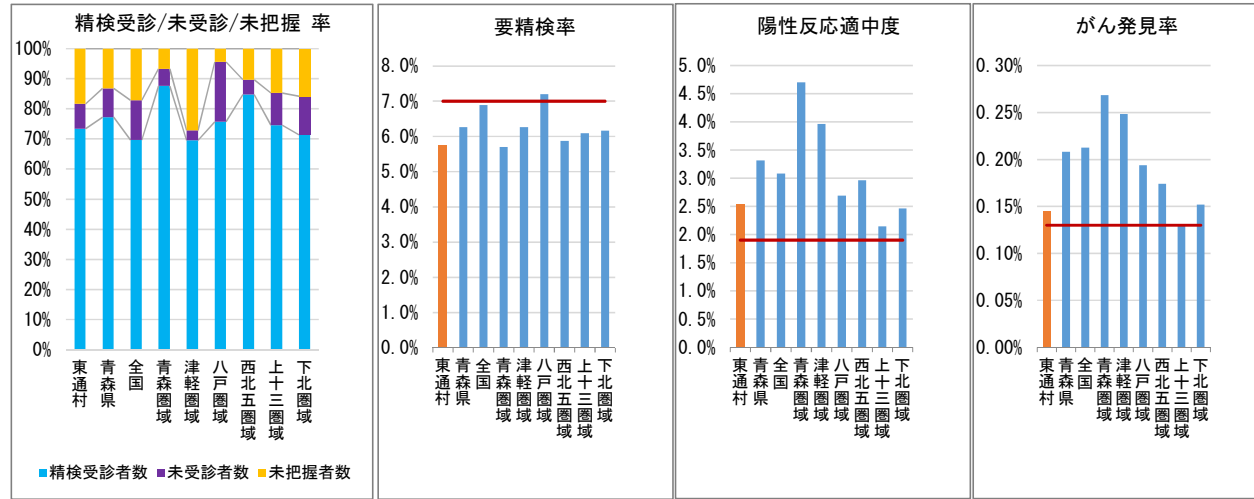
※50歳代は大腸がん検診モデル事業の影響により県平均の受診率や初回受診者割合が通常よりも高い。

(出典：H29年度地域保健・健康増進事業報告)

平成26～28年度 大腸がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	東通村
------	-----

1. 大腸がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<大腸がん検診のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	東通村	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	2,754	322,096	19,508,135	65,231	78,070	69,117	46,519	47,356	15,803	—
要精検者数	158	20,185	1,344,618	3,720	4,892	4,978	2,734	2,887	974	—
未把握者数	29	2,658	230,255	249	1,328	219	282	426	154	—
未受診者数	13	1,934	177,989	212	162	992	135	308	125	—
精検受診者数	116	15,593	936,374	3,259	3,402	3,767	2,317	2,153	695	—
がんであった者	4	670	41,459	175	194	134	81	62	24	—
要精検率	5.7%	6.3%	6.9%	5.7%	6.3%	7.2%	5.9%	6.1%	6.2%	7.0% 以下
精検受診率	73.4%	77.3%	69.6%	87.6%	69.5%	75.7%	84.7%	74.6%	71.4%	—
未受診率	8.2%	9.6%	13.2%	5.7%	3.3%	19.9%	4.9%	10.7%	12.8%	—
未把握率	18.4%	13.2%	17.1%	6.7%	27.1%	4.4%	10.3%	14.8%	15.8%	—
陽性反応適中度	2.5%	3.3%	3.1%	4.7%	4.0%	2.7%	3.0%	2.1%	2.5%	1.9% 以上
がん発見率	0.15%	0.21%	0.21%	0.27%	0.25%	0.19%	0.17%	0.13%	0.15%	0.13% 以上

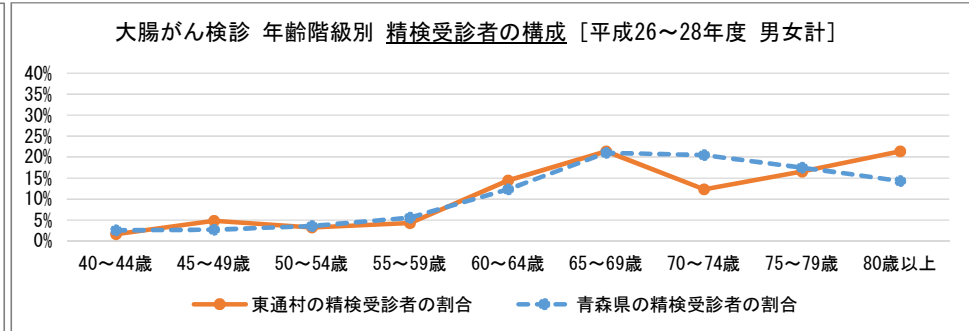
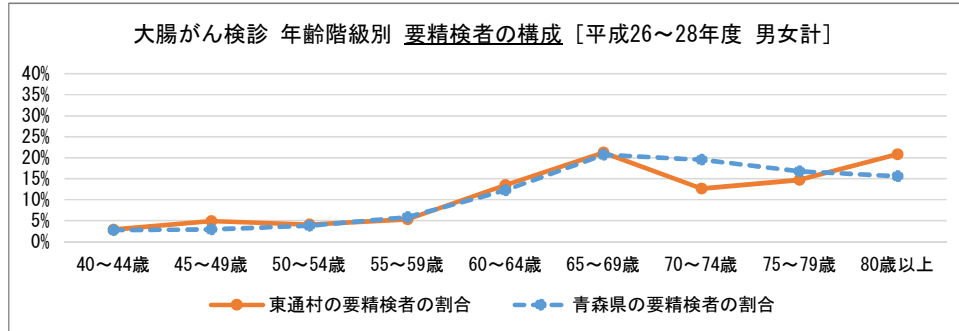
[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H27～H29年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

自治体名 東通村

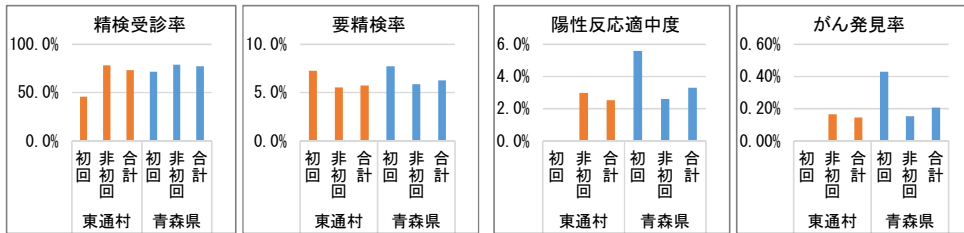
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成26～28年度 男女計]>

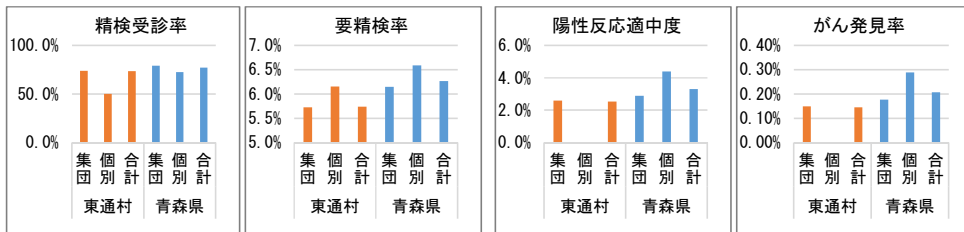
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
東通村 要精検者数	7	12	10	13	33	52	31	36	51	245	158
東通村 精検受診者数	3	9	6	8	27	40	23	31	40	187	116
東通村 精検受診率	42.9%	75.0%	60.0%	61.5%	81.8%	76.9%	74.2%	86.1%	78.4%	76.3%	73.4%
青森県 要精検者数	816	859	1,119	1,731	3,652	6,176	5,832	5,008	4,659	29,852	20,185
青森県 精検受診者数	582	621	820	1,270	2,815	4,804	4,681	3,993	3,272	22,858	15,593
青森県 精検受診率	71.3%	72.3%	73.3%	73.4%	77.1%	77.8%	80.3%	79.7%	70.2%	76.6%	77.3%

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村 初回	331	24	11	0	7.3%	45.8%	0.0%	0.00%
東通村 非初回	2,423	134	105	4	5.5%	78.4%	3.0%	0.17%
東通村 合計	2,754	158	116	4	5.7%	73.4%	2.5%	0.15%
青森県 初回	64,034	4,936	3,534	276	7.7%	71.6%	5.6%	0.43%
青森県 非初回	246,483	14,499	11,461	379	5.9%	79.0%	2.6%	0.15%
青森県 合計	322,096	20,185	15,593	670	6.3%	77.3%	3.3%	0.21%

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計]>



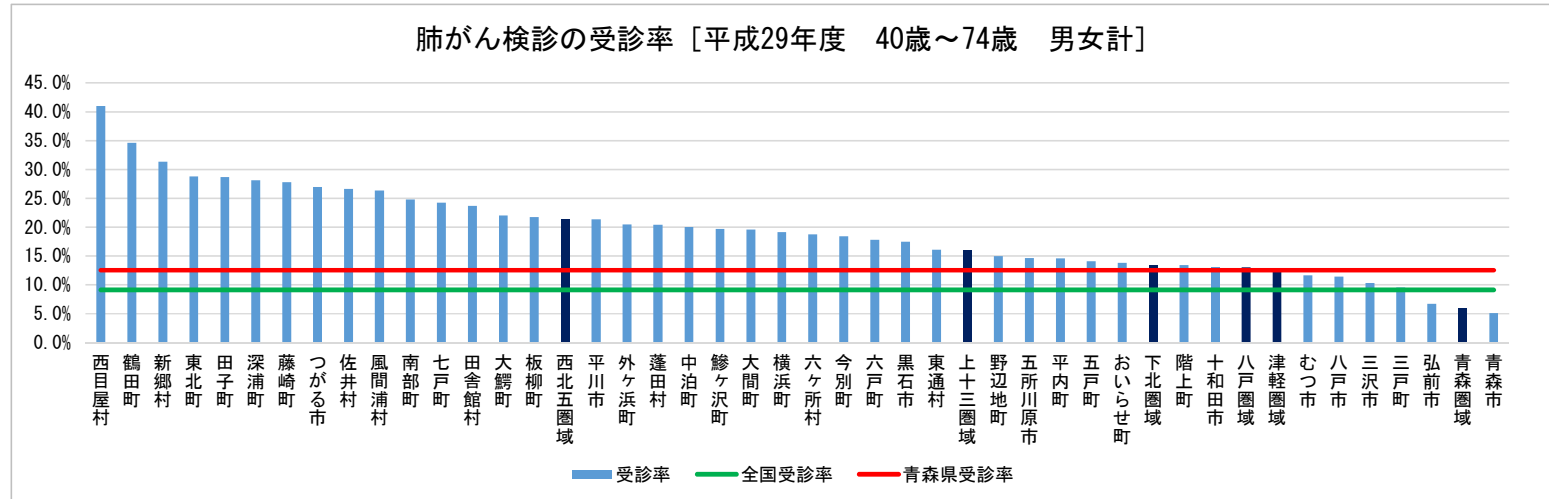
区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村 集団検診	2,689	154	114	4	5.7%	74.0%	2.6%	0.15%
東通村 個別検診	65	4	2	0	6.2%	50.0%	0.0%	0.00%
東通村 合計	2,754	158	116	4	5.7%	73.4%	2.5%	0.15%
青森県 集団検診	233,204	14,330	11,343	413	6.1%	79.2%	2.9%	0.18%
青森県 個別検診	88,892	5,855	4,250	257	6.6%	72.6%	4.4%	0.29%
青森県 合計	322,096	20,185	15,593	670	6.3%	77.3%	3.3%	0.21%

個別事項「プロセス指標」

平成29年度 肺がん検診プロセス指標－受診率－

自治体名	東通村
------	-----

1. 肺がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

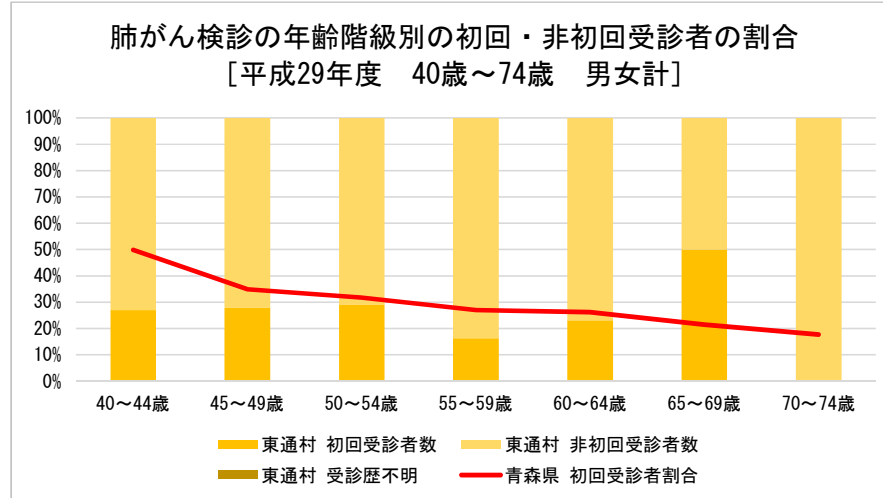
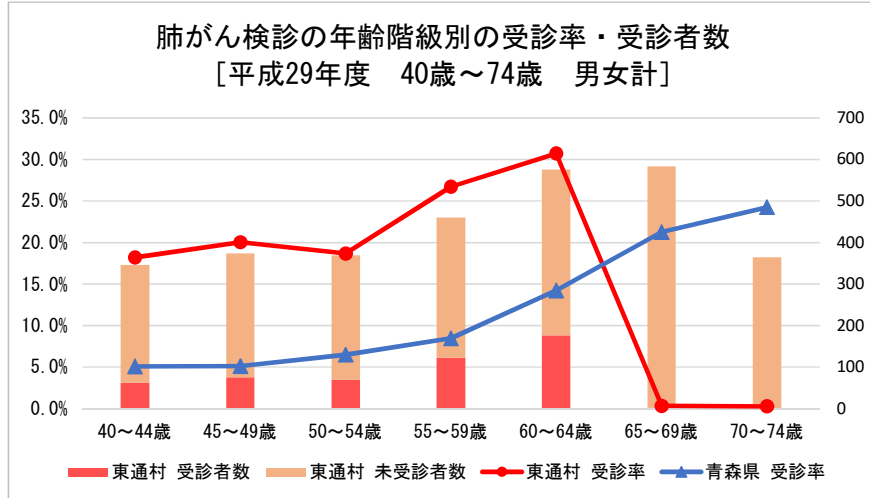
<肺がん検診の受診率 [平成29年度 40歳～74歳 男女計]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	9.1%	12.6%	6.0%	12.7%	13.0%	21.4%	16.1%	13.5%	5.1%	6.7%	11.5%	17.5%	14.7%	13.1%	10.4%	11.7%	26.9%	21.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	36位	26位	29位	34位	37位	35位	8位	16位
受診者数	5,484,663	81,939	9,527	17,928	21,240	14,266	13,903	5,075	7,425	5,721	13,266	2,970	4,127	4,152	1,883	3,442	4,439	3,333
対象者数	60,117,923	652,841	157,509	141,610	162,837	66,701	86,504	37,680	145,394	84,953	115,703	16,973	28,153	31,776	18,166	29,544	16,477	15,597
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	14.6%	18.4%	20.4%	20.5%	19.7%	28.1%	41.0%	27.8%	22.0%	23.7%	21.8%	34.6%	20.0%	15.0%	24.2%	17.8%	19.1%	28.8%
順位	30位	24位	18位	17位	20位	6位	1位	7位	14位	13位	15位	2位	19位	28位	12位	25位	22位	4位
受診者数	870	262	299	671	1,043	1,239	265	2,064	1,115	925	1,535	2,236	1,182	1,087	1,977	938	436	2,531
対象者数	5,954	1,423	1,465	3,273	5,298	4,408	646	7,422	5,061	3,902	7,056	6,459	5,906	7,264	8,163	5,272	2,277	8,792
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	18.8%	13.8%	19.6%	16.1%	26.4%	26.7%	9.5%	14.1%	28.7%	24.8%	13.4%	31.3%						
順位	23位	32位	21位	27位	10位	9位	38位	31位	5位	11位	33位	3位						
受診者数	899	1,648	548	510	278	297	503	1,271	819	2,350	983	400						
対象者数	4,794	11,906	2,801	3,166	1,055	1,114	5,273	9,014	2,852	9,484	7,329	1,276						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H29年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



<肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成29年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
東通村	対象者数	346	374	369	460	576	583	364			3,072	2,708	3,072
東通村	受診者数	63	75	69	123	177	2	1	0	1	511	509	510
東通村	初回受診者数	17	21	20	20	41	1	0	0	0	120	120	120
東通村	非初回受診者数	46	54	49	103	136	1	1	0	1	391	389	390
東通村	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	受診率	18.2%	20.1%	18.7%	26.7%	30.7%	0.3%	0.3%				18.8%	16.6%
青森県	対象者数	86,310	88,633	84,791	91,906	98,694	115,753	86,660			652,747	566,087	652,747
青森県	受診者数	4,389	4,540	5,503	7,806	14,052	24,628	21,021	15,062	11,196	108,197	60,918	81,939
青森県	初回受診者数	2,188	1,584	1,745	2,106	3,679	5,277	3,719	3,103	2,338	25,739	16,579	20,298
青森県	非初回受診者数	1,899	2,700	3,468	5,364	9,667	18,262	16,451	11,362	8,276	77,449	41,360	57,811
青森県	受診歴不明	302	256	290	336	706	1,089	851	597	582	5,009	2,979	3,830
青森県	受診率	5.1%	5.1%	6.5%	8.5%	14.2%	21.3%	24.3%				10.8%	12.6%

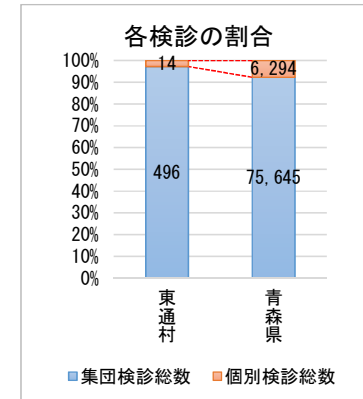
※受診者数はH29年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者



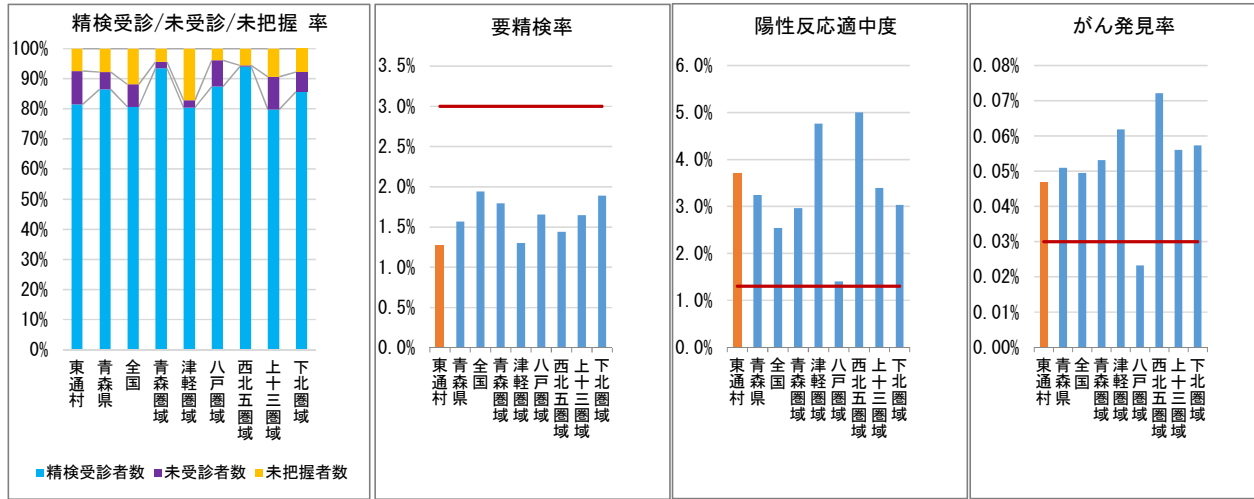
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項 [令和2年2月25日付け青が生第543号通知]

平成26～28年度 肺がん検診プロセス指標 – 受診率を除く –

自治体名	東通村
------	-----

1. 肺がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<肺がん検診のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計]>

区分	東通村	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	2,128	206,230	13,459,112	22,559	43,615	56,068	36,055	35,713	12,220	—
要精検者数	27	3,241	261,763	405	567	929	520	589	231	—
未把握者数	2	253	31,004	18	97	36	29	55	18	—
未受診者数	3	184	19,661	8	14	81	2	64	15	—
精検受診者数	22	2,804	211,098	379	456	812	489	470	198	—
がんであった者	1	105	6,664	12	27	13	26	20	7	—
要精検率	1.3%	1.6%	1.9%	1.8%	1.3%	1.7%	1.4%	1.6%	1.9%	3.0% 以下
精検受診率	81.5%	86.5%	80.6%	93.6%	80.4%	87.4%	94.0%	79.8%	85.7%	—
未受診率	11.1%	5.7%	7.5%	2.0%	2.5%	8.7%	0.4%	10.9%	6.5%	—
未把握率	7.4%	7.8%	11.8%	4.4%	17.1%	3.9%	5.6%	9.3%	7.8%	—
陽性反応適中度	3.7%	3.2%	2.5%	3.0%	4.8%	1.4%	5.0%	3.4%	3.0%	1.3% 以上
がん発見率	0.05%	0.05%	0.05%	0.05%	0.06%	0.02%	0.07%	0.06%	0.06%	0.03% 以上

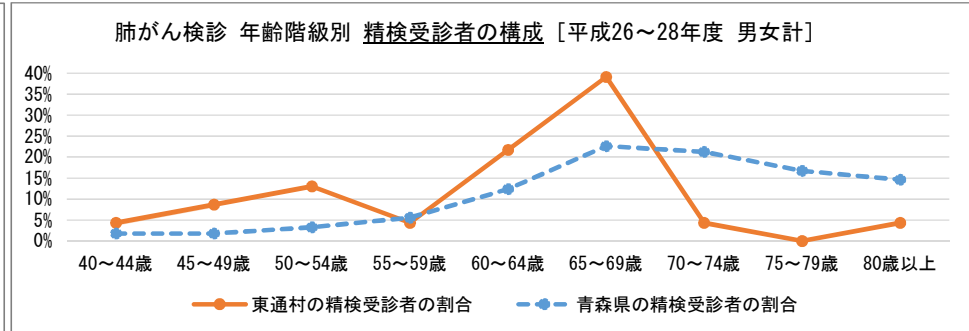
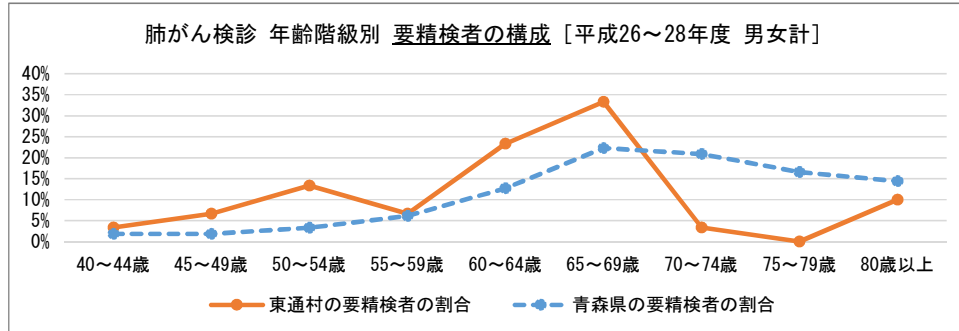
[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H27～H29年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

自治体名 東通村

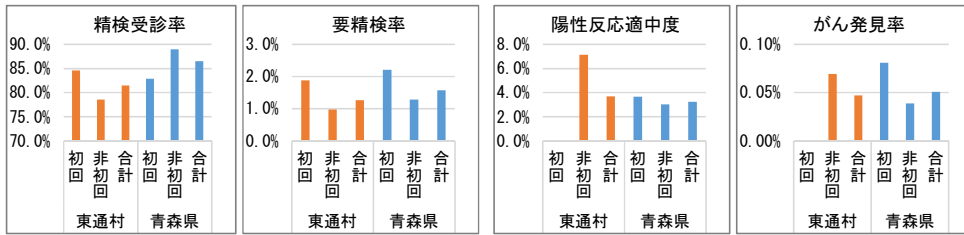
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成26～28年度 男女計] >

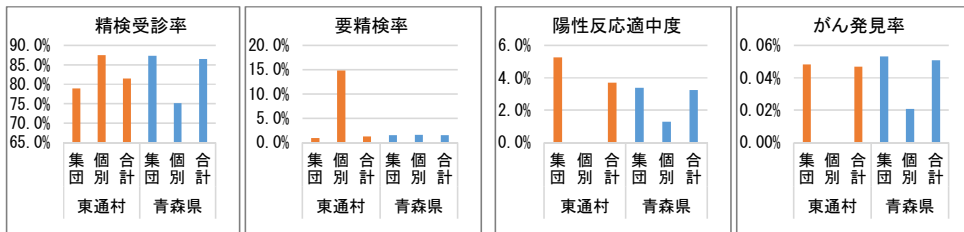
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
東通村 要精検者数	1	2	4	2	7	10	1	0	3	30	27
東通村 精検受診者数	1	2	3	1	5	9	1	0	1	23	22
東通村 精検受診率	100.0%	100.0%	75.0%	50.0%	71.4%	90.0%	100.0%	0.0%	33.3%	76.7%	81.5%
青森県 要精検者数	87	86	156	288	596	1,047	981	779	675	4,695	3,241
青森県 精検受診者数	73	73	133	228	505	924	868	684	596	4,084	2,804
青森県 精検受診率	83.9%	84.9%	85.3%	79.2%	84.7%	88.3%	88.5%	87.8%	88.3%	87.0%	86.5%

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村 初回	689	13	11	0	1.9%	84.6%	0.0%	0.00%
東通村 非初回	1,439	14	11	1	1.0%	78.6%	7.1%	0.07%
東通村 合計	2,128	27	22	1	1.3%	81.5%	3.7%	0.05%
青森県 初回	58,022	1,280	1,061	47	2.2%	82.9%	3.7%	0.08%
青森県 非初回	139,229	1,781	1,584	54	1.3%	88.9%	3.0%	0.04%
青森県 合計	206,230	3,241	2,804	105	1.6%	86.5%	3.2%	0.05%

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 男女計] >

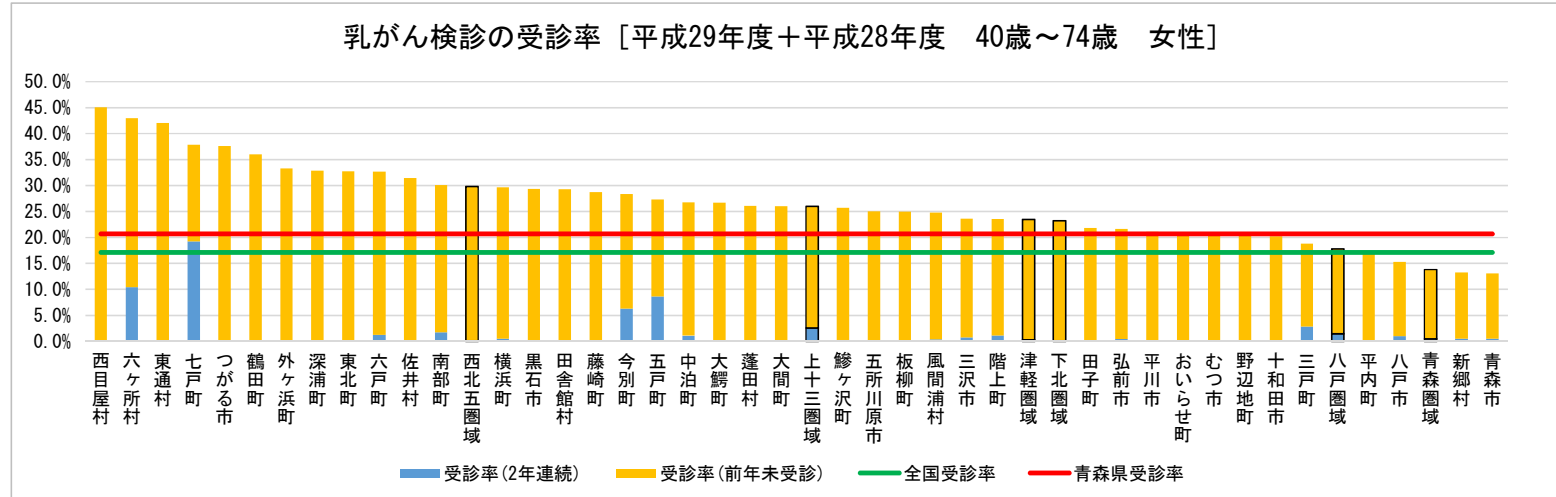


区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村 集団検診	2,074	19	15	1	0.9%	78.9%	5.3%	0.05%
東通村 個別検診	54	8	7	0	14.8%	87.5%	0.0%	0.00%
東通村 合計	2,128	27	22	1	1.3%	81.5%	3.7%	0.05%
青森県 集団検診	191,846	3,008	2,629	102	1.6%	87.4%	3.4%	0.05%
青森県 個別検診	14,384	233	175	3	1.6%	75.1%	1.3%	0.02%
青森県 合計	206,230	3,241	2,804	105	1.6%	86.5%	3.2%	0.05%

平成29年度 乳がん検診プロセス指標－受診率－

自治体名	東通村
------	-----

1. 乳がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

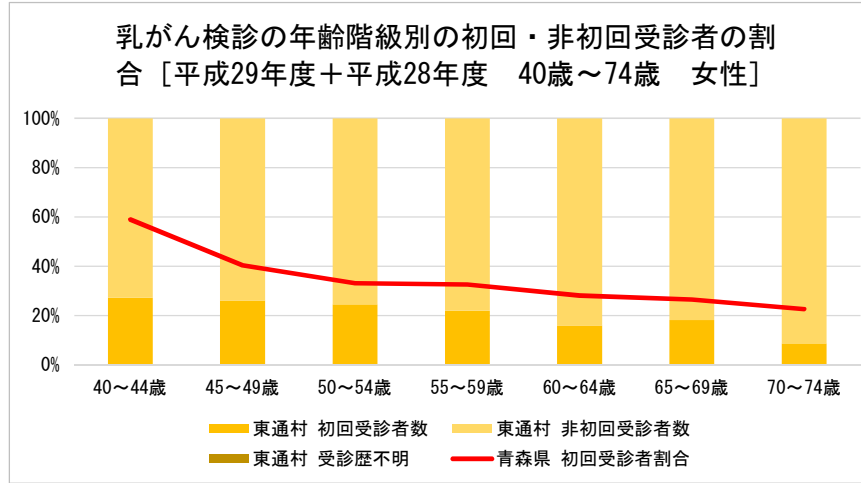
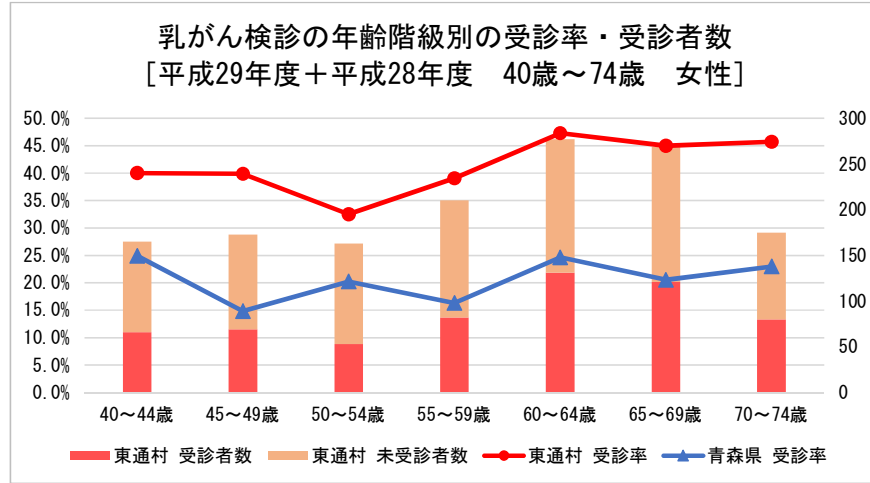
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

<乳がん検診の受診率 [平成29年度+平成28年度 40歳～74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	17.1%	20.7%	13.8%	23.5%	17.8%	29.8%	26.0%	23.2%	13.0%	21.6%	15.3%	29.4%	25.0%	20.2%	23.6%	20.9%	37.6%	21.1%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	30位	38位	14位	24位	35位	27位	33位	5位	31位
受診者数	5,192,352	69,517	11,353	17,526	14,707	10,316	11,250	4,365	9,935	9,800	9,072	2,594	3,743	3,269	2,168	3,131	3,166	1,704
対象者数	30,338,877	336,174	82,131	74,630	82,731	34,588	43,299	18,795	76,166	45,326	59,268	8,829	14,976	16,167	9,172	15,015	8,416	8,090
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	17.0%	28.3%	26.1%	33.2%	25.7%	32.9%	45.1%	28.7%	26.7%	29.3%	25.0%	36.0%	26.8%	20.4%	37.9%	32.6%	29.7%	32.8%
順位	37位	17位	21位	7位	23位	8位	1位	16位	20位	15位	25位	6位	19位	34位	4位	10位	13位	9位
受診者数	499	198	191	530	695	729	137	1,093	694	587	917	1,183	800	763	1,526	843	326	1,416
対象者数	2,940	699	732	1,594	2,703	2,217	304	3,805	2,600	2,003	3,673	3,290	2,986	3,743	4,030	2,583	1,099	4,321
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について]					
受診率	43.0%	21.0%	26.0%	42.0%	24.8%	31.4%	18.8%	27.3%	21.8%	30.1%	23.5%	13.3%	(H29年度の受診者数－H29年度の2年連続受診者数 +H28年度の受診者数)÷H29年度の対象者数＝受診率					
順位	2位	32位	22位	3位	26位	11位	36位	18位	29位	12位	28位	39位	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算					
受診者数	939	1,297	347	602	126	159	491	1,208	306	1,424	831	78	しているため他の統計の受診率と異なる。					
対象者数	2,184	6,173	1,333	1,432	509	506	2,612	4,419	1,403	4,735	3,533	588						

(出典：H29年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成29年度+平成28年度 女性]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
東通村	対象者数	165	173	163	210	277	269	175	762		2,194	1,257	1,432
東通村	受診者数	66	69	53	82	131	121	80	57	23	682	522	602
東通村	初回受診者数	18	18	13	18	21	22	7	4	2	123	110	117
東通村	非初回受診者数	48	51	40	64	110	99	73	53	21	559	412	485
東通村	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	受診率	40.0%	39.9%	32.5%	39.0%	47.3%	45.0%	45.7%	7.5%			41.5%	42.0%
青森県	対象者数	42,659	44,627	43,132	47,173	50,881	60,390	47,312	137,149		473,323	288,862	336,174
青森県	受診者数	10,627	6,621	8,717	7,708	12,545	12,420	10,879	4,876	2,384	76,777	58,638	69,517
青森県	初回受診者数	6,266	2,672	2,889	2,510	3,532	3,295	2,462	1,155	607	25,388	21,164	23,626
青森県	非初回受診者数	3,971	3,745	5,508	4,913	8,539	8,704	8,025	3,564	1,667	48,636	35,380	43,405
青森県	受診歴不明	390	204	320	285	474	421	392	157	110	2,753	2,094	2,486
青森県	受診率	24.9%	14.8%	20.2%	16.3%	24.7%	20.6%	23.0%	3.6%			20.3%	20.7%

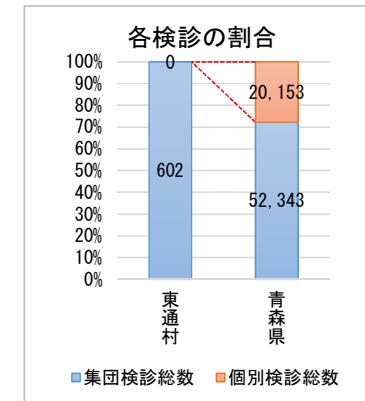
※受診者数はH29年度とH28年度の受診者数の合計からH29年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



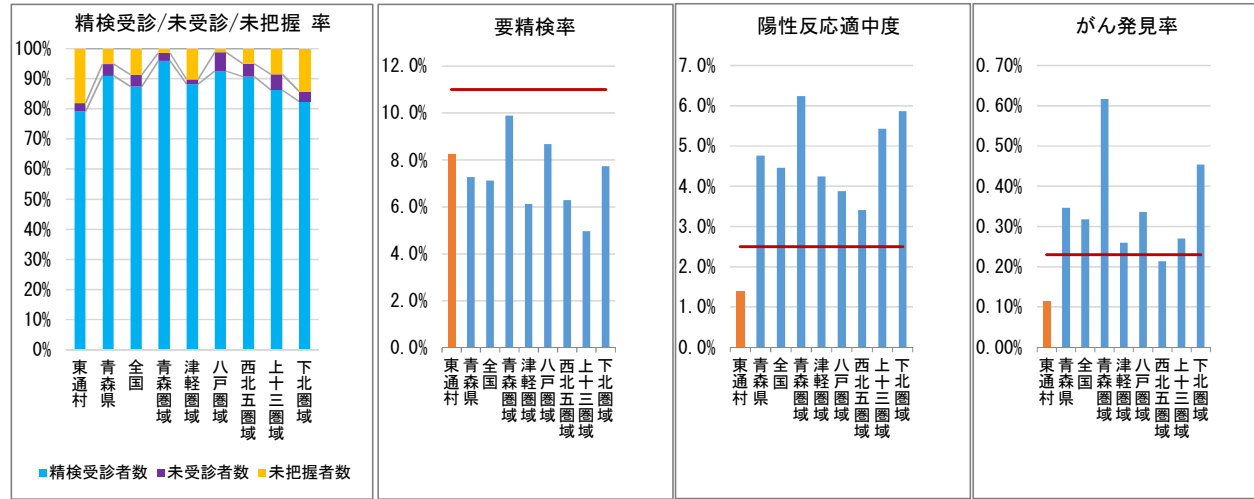
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項 [令和2年2月25日付け青が生第543号通知]

平成26～28年度 乳がん検診プロセス指標 – 受診率を除く –

自治体名	東通村
------	-----

1. 乳がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<乳がん検診のプロセス指標 [平成26～28年度 40歳～74歳 女性]>

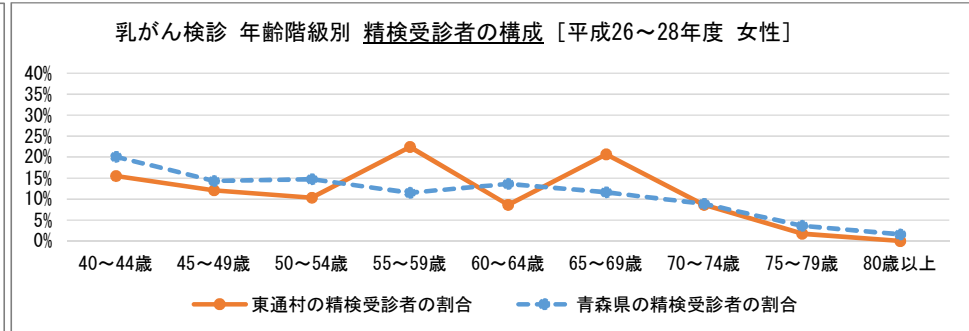
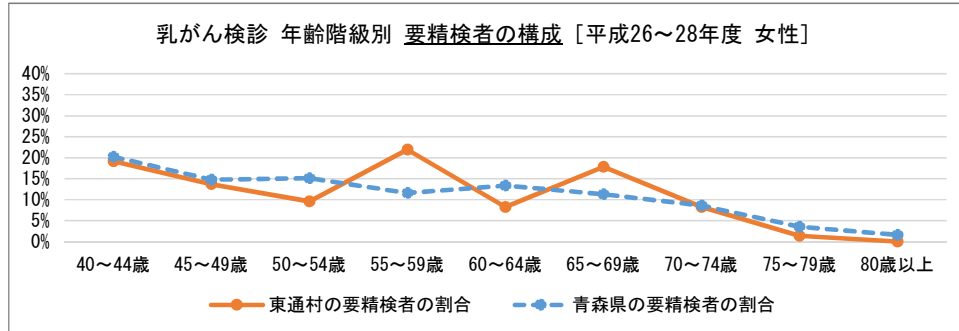
区分	東通村	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	873	113,764	8,945,277	20,256	26,547	25,535	15,858	19,622	9,946	—
要精検者数	72	8,277	637,539	2,002	1,627	2,215	997	976	460	—
未把握者数	13	419	55,461	28	166	27	50	83	65	—
未受診者数	2	325	24,755	52	26	138	42	51	16	—
精検受診者数	57	7,533	557,323	1,922	1,435	2,050	905	842	379	—
がんであった者	1	394	28,405	125	69	86	34	53	27	—
要精検率	8.2%	7.3%	7.1%	9.9%	6.1%	8.7%	6.3%	5.0%	7.7%	11.0% 以下
精検受診率	79.2%	91.0%	87.4%	96.0%	88.2%	92.6%	90.8%	86.3%	82.4%	—
未受診率	2.8%	3.9%	3.9%	2.6%	1.6%	6.2%	4.2%	5.2%	3.5%	—
未把握率	18.1%	5.1%	8.7%	1.4%	10.2%	1.2%	5.0%	8.5%	14.1%	—
陽性反応適中度	1.4%	4.8%	4.5%	6.2%	4.2%	3.9%	3.4%	5.4%	5.9%	2.5% 以上
がん発見率	0.11%	0.35%	0.32%	0.62%	0.26%	0.34%	0.21%	0.27%	0.45%	0.23% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H27～H29年度地域保健・健康増進事業報告)

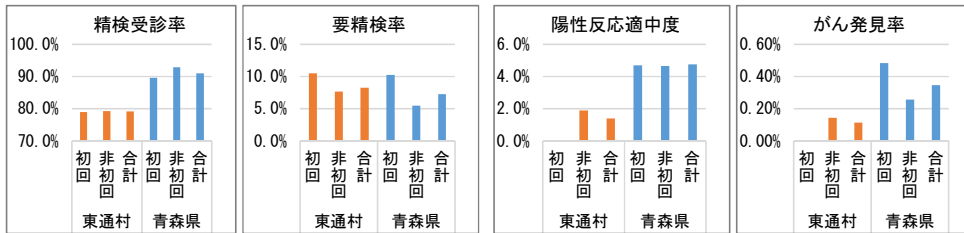
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成26~28年度 女性] >

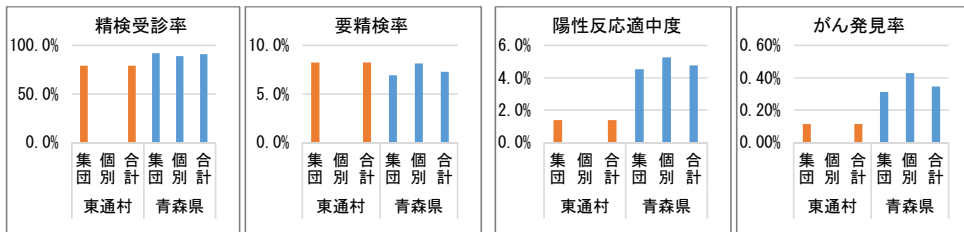
区分		40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計	40~74歳
東通村	要精検者数	14	10	7	16	6	13	6	1	0	73	72
東通村	精検受診者数	9	7	6	13	5	12	5	1	0	58	57
東通村	精検受診率	64.3%	70.0%	85.7%	81.3%	83.3%	92.3%	83.3%	100.0%	0.0%	79.5%	79.2%
青森県	要精検者数	1,764	1,286	1,319	1,013	1,162	983	750	309	139	8,725	8,277
青森県	精検受診者数	1,598	1,140	1,170	912	1,083	925	705	287	127	7,947	7,533
青森県	精検受診率	90.6%	88.6%	88.7%	90.0%	93.2%	94.1%	94.0%	92.9%	91.4%	91.1%	91.0%

<乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成26~28年度 40歳~74歳 女性] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村	初回	181	19	15	0	10.5%	78.9%	0.0%	0.00%
東通村	非初回	692	53	42	1	7.7%	79.2%	1.9%	0.14%
東通村	合計	873	72	57	1	8.2%	79.2%	1.4%	0.11%
青森県	初回	43,219	4,440	3,980	209	10.3%	89.6%	4.7%	0.48%
青森県	非初回	65,251	3,583	3,328	167	5.5%	92.9%	4.7%	0.26%
青森県	合計	113,764	8,277	7,533	394	7.3%	91.0%	4.8%	0.35%

<乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成26~28年度 40歳~74歳 女性] >

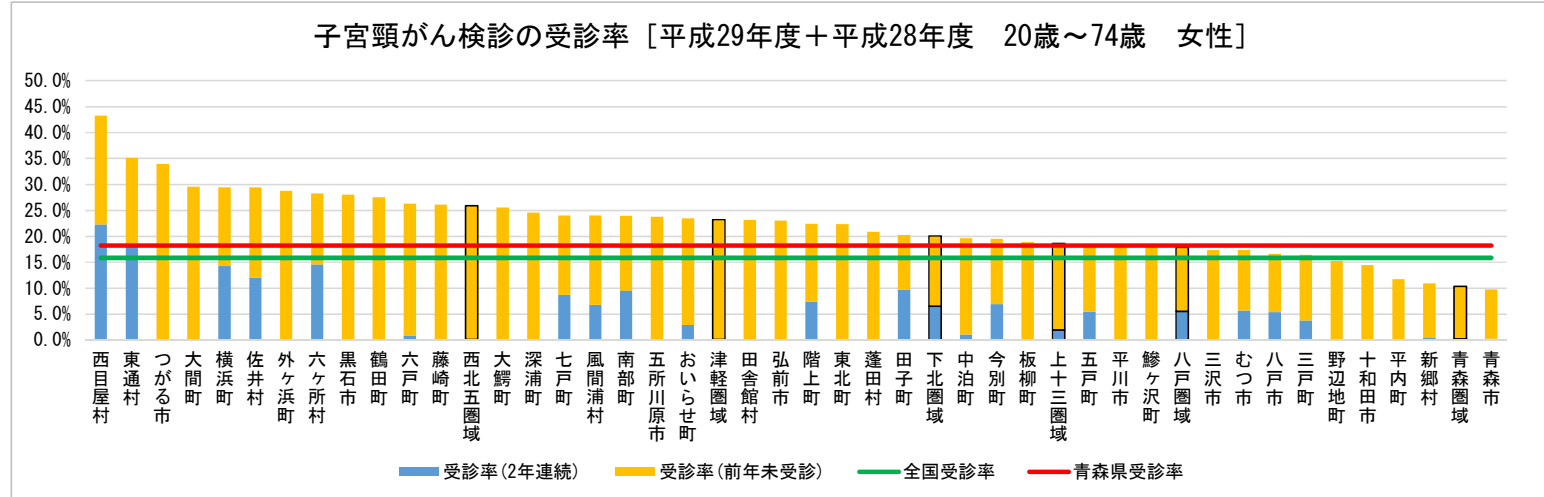


区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村	集団検診	873	72	57	1	8.2%	79.2%	1.4%	0.11%
東通村	個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
東通村	合計	873	72	57	1	8.2%	79.2%	1.4%	0.11%
青森県	集団検診	81,609	5,654	5,201	256	6.9%	92.0%	4.5%	0.31%
青森県	個別検診	32,155	2,623	2,332	138	8.2%	88.9%	5.3%	0.43%
青森県	合計	113,764	8,277	7,533	394	7.3%	91.0%	4.8%	0.35%

平成29年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	東通村
------	-----

1. 子宮頸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

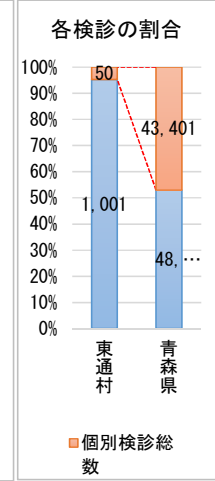
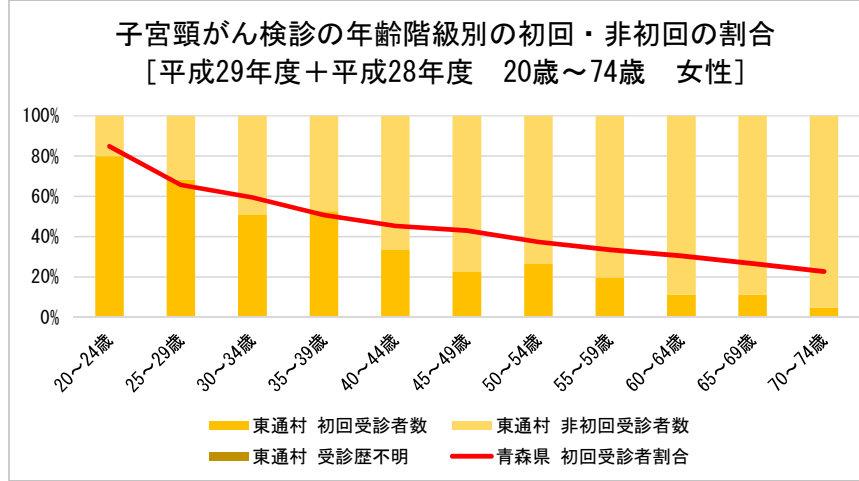
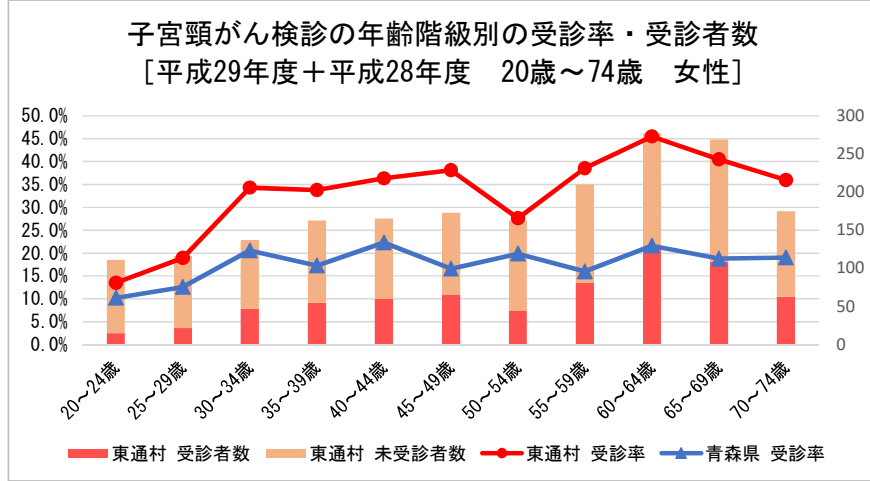
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

<子宮頸がん検診の受診率 [平成29年度+平成28年度 20歳~74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.9%	18.2%	10.3%	23.2%	17.9%	25.9%	18.6%	20.1%	9.8%	23.0%	16.6%	28.0%	23.7%	14.5%	17.3%	17.3%	34.0%	18.1%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	21位	34位	9位	18位	37位	32位	33位	3位	30位
受診者数	7,002,831	82,815	11,530	23,628	20,087	11,618	10,946	5,006	10,188	14,400	13,546	3,360	4,672	3,113	2,344	3,462	3,754	1,975
対象者数	44,157,947	454,117	111,419	101,762	112,303	44,853	58,839	24,941	104,017	62,530	81,419	11,995	19,681	21,528	13,514	19,974	11,047	10,891
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	11.7%	19.5%	20.9%	28.8%	18.0%	24.5%	43.3%	26.1%	25.6%	23.2%	18.9%	27.6%	19.7%	15.3%	24.0%	26.3%	29.5%	22.4%
順位	38位	27位	24位	7位	31位	14位	1位	12位	13位	20位	28位	10位	26位	36位	15位	11位	5位	23位
受診者数	441	158	195	548	613	660	171	1,360	838	613	911	1,185	734	744	1,234	935	423	1,255
対象者数	3,756	809	934	1,903	3,404	2,689	395	5,204	3,277	2,647	4,823	4,299	3,733	4,875	5,141	3,558	1,435	5,609
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について]					
受診率	28.2%	23.5%	29.6%	35.2%	24.0%	29.4%	16.4%	18.2%	20.2%	23.9%	22.4%	10.9%	(H29年度の受診者数-H29年度の2年連続受診者数 +H28年度の受診者数) ÷ H29年度の対象者数 = 受診率					
順位	8位	19位	4位	2位	16位	6位	35位	29位	25位	17位	22位	39位	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診者数	898	2,004	523	689	148	184	550	1,043	355	1,458	1,049	82						
対象者数	3,179	8,531	1,766	1,959	617	625	3,344	5,737	1,755	6,088	4,678	751						

(出典：H29年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



< 子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成29年度+平成28年度 女性] >

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～69歳	20～74歳
東通村	対象者数	111	116	137	163	165	173	163	210	277	269	175			1,959	1,784	1,959
東通村	受診者数	15	22	47	55	60	66	45	81	126	109	63	60	18	767	626	689
東通村	初回受診者数	12	15	24	29	20	15	12	16	14	12	3	4	2	178	169	172
東通村	非初回受診者数	3	7	23	26	40	51	33	65	112	97	60	56	16	589	457	517
東通村	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	受診率	13.5%	19.0%	34.3%	33.7%	36.4%	38.2%	27.6%	38.6%	45.5%	40.5%	36.0%				35.1%	35.2%
青森県	対象者数	25,402	25,118	31,403	36,020	42,659	44,627	43,132	47,173	50,881	60,390	47,312			454,117	406,805	454,117
青森県	受診者数	2,594	3,165	6,458	6,232	9,512	7,394	8,583	7,547	10,985	11,339	9,006	4,358	2,098	89,271	73,809	82,815
青森県	初回受診者数	2,201	2,077	3,838	3,164	4,316	3,181	3,212	2,529	3,341	3,016	2,036	1,031	630	34,572	30,875	32,911
青森県	非初回受診者数	306	914	2,358	2,807	4,804	3,957	5,046	4,726	7,181	7,925	6,660	3,179	1,372	51,235	40,024	46,684
青森県	受診歴不明	87	174	262	261	392	256	325	292	463	398	310	148	96	3,464	2,910	3,220
青森県	受診率	10.2%	12.6%	20.6%	17.3%	22.3%	16.6%	19.9%	16.0%	21.6%	18.8%	19.0%				18.1%	18.2%

※受診者数はH29年度とH28年度の受診者数の合計からH29年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

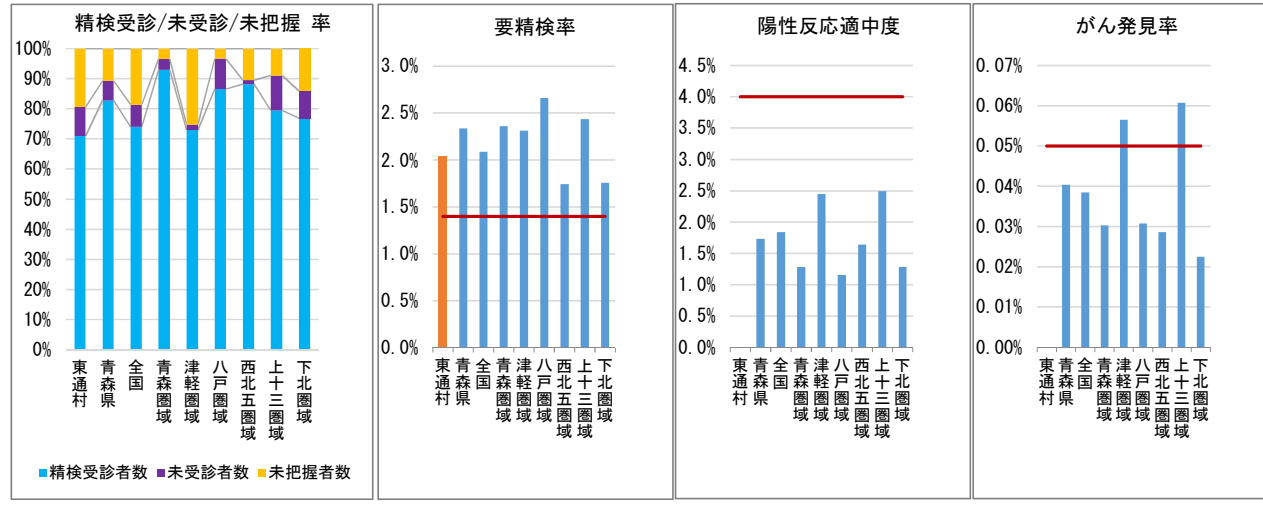
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項 [令和2年2月25日付け青が生第543号通知]

平成26～28年度 子宮頸がん検診プロセス指標 – 受診率を除く –

自治体名	東通村
------	-----

1. 子宮頸がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<子宮頸がん検診のプロセス指標 [平成26～28年度 20歳～74歳 女性]>

区分	東通村	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	1,526	143,512	12,860,792	19,821	35,346	42,228	17,469	19,763	8,885	—
要精検者数	31	3,350	268,721	468	817	1,123	305	481	156	—
未把握者数	6	357	49,848	16	206	38	32	43	22	—
未受診者数	3	219	19,923	17	15	113	4	56	14	—
精検受診者数	22	2,774	198,950	435	596	972	269	382	120	—
がんであった者	0	58	4,944	6	20	13	5	12	2	—
要精検率	2.0%	2.3%	2.1%	2.4%	2.3%	2.7%	1.7%	2.4%	1.8%	1.4% 以下
精検受診率	71.0%	82.8%	74.0%	92.9%	72.9%	86.6%	88.2%	79.4%	76.9%	—
未受診率	9.7%	6.5%	7.4%	3.6%	1.8%	10.1%	1.3%	11.6%	9.0%	—
未把握率	19.4%	10.7%	18.6%	3.4%	25.2%	3.4%	10.5%	8.9%	14.1%	—
陽性反応適中度	0.0%	1.7%	1.8%	1.3%	2.4%	1.2%	1.6%	2.5%	1.3%	4.0% 以上
がん発見率	0.00%	0.04%	0.04%	0.03%	0.06%	0.03%	0.03%	0.06%	0.02%	0.05% 以上

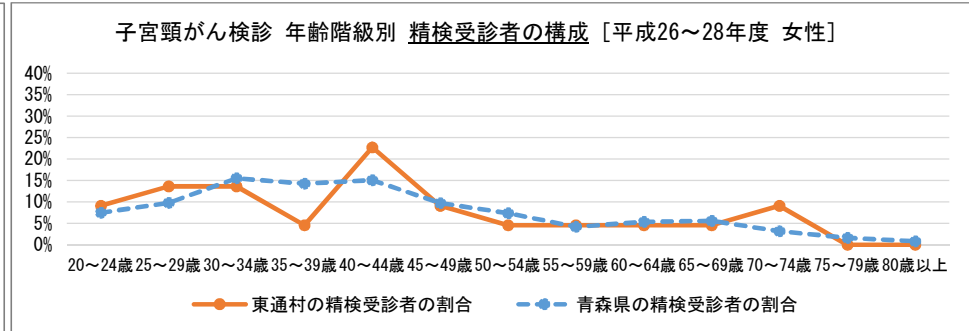
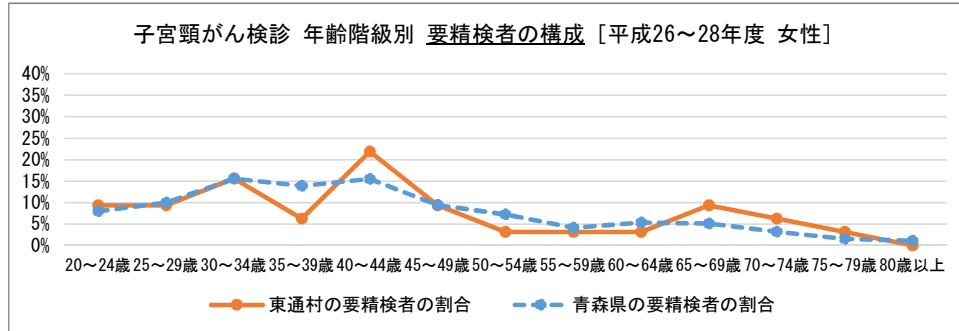
指標の意義・一般的な対策

精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H27～H29年度地域保健・健康増進事業報告)

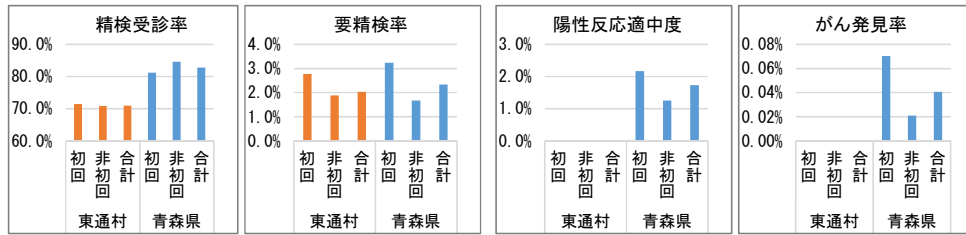
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成26～28年度 女性] >

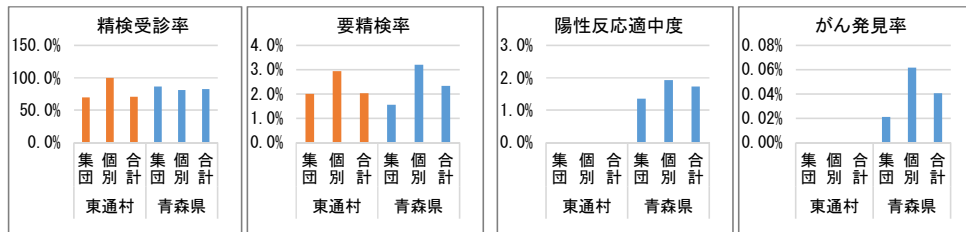
区分	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～74歳
東通村 要精検者数	3	3	5	2	7	3	1	1	1	3	2	1	0	32	31
東通村 精検受診者数	2	3	3	1	5	2	1	1	1	1	2	0	0	22	22
東通村 精検受診率	66.7%	100.0%	60.0%	50.0%	71.4%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	68.8%	71.0%
青森県 要精検者数	275	344	536	477	534	324	248	142	184	176	110	53	38	3,441	3,350
青森県 精検受診者数	213	278	441	406	429	276	210	120	152	159	90	46	24	2,844	2,774
青森県 精検受診率	77.5%	80.8%	82.3%	85.1%	80.3%	85.2%	84.7%	84.5%	82.6%	90.3%	81.8%	86.8%	63.2%	82.7%	82.8%

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成26～28年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村 初回	252	7	5	0	2.8%	71.4%	0.0%	0.00%
東通村 非初回	1,274	24	17	0	1.9%	70.8%	0.0%	0.00%
東通村 合計	1,526	31	22	0	2.0%	71.0%	0.0%	0.00%
青森県 初回	56,823	1,843	1,497	40	3.2%	81.2%	2.2%	0.07%
青森県 非初回	81,492	1,362	1,152	17	1.7%	84.6%	1.2%	0.02%
青森県 合計	143,512	3,350	2,774	58	2.3%	82.8%	1.7%	0.04%

<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成26～28年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
東通村 集団検診	1,492	30	21	0	2.0%	70.0%	0.0%	0.00%
東通村 個別検診	34	1	1	0	2.9%	100.0%	0.0%	0.00%
東通村 合計	1,526	31	22	0	2.0%	71.0%	0.0%	0.00%
青森県 集団検診	75,611	1,176	1,019	16	1.6%	86.6%	1.4%	0.02%
青森県 個別検診	67,901	2,174	1,755	42	3.2%	80.7%	1.9%	0.06%
青森県 合計	143,512	3,350	2,774	58	2.3%	82.8%	1.7%	0.04%